

ふるさと歴史散歩 225

～松前史談会レポート～

地蔵町駅界隈えとこめぐりⅡ

古くは南予鉄道の時代、駅は出合駅と松前駅であったが、その後伊予鉄道との合併により明治 34 (1901) 年 2 月に地蔵町駅が開業された。当時「地蔵町界隈」の有力者が誘致運動を展開し開業に至ったと聞いている。また「郡中線組」という言葉が地元有名知事の時代までささやかれ、現在は有人駅として朝夕は通勤通学で活況を呈している。

地蔵町駅近くに「武士心」の武智酒店と船橋薬局がある。武智酒店は旧油屋を営み、文久 2 (1862) 年松山藩の許可を得て造り酒屋を創業、その後今日に至っている。船橋薬局は江戸末期から「ちゅうぶ薬」(中風薬)を調剤販売。旧店舗時代の 2 階軒下に「官許本舗・ちゅうぶ薬調剤」と彫刻された額(縦 1.2 m、横 0.6 m)がつり下がり、往時の大洲街道のにぎわいをほうふとさせる。今は店舗内に保管されている。これらの老舗は現在も商いを継続している。

地蔵町駅を出て旧大洲街道を伊予市に向かうと、松前町と伊予市の境にある豊円寺の交差点に藩境の碑がある。高さ 1.8 m の石碑が寺の東の塀そばに建っている。

「従是南大洲領」と刻まれ、藩政時代の大洲領と松山領の境界碑である。

寛永 12 (1635) 年に当時松山領に属していた郡中と大洲領に属していた風早地方(現松山市北条)との替地が成立、この時建立されたとすると約 380 年も昔の石の証明書である。

一行は旧大洲街道沿いに残る旧家を巡りながら歴史散歩を終えた。(武智修一記)



❶ 武智酒店
店内には歴代総理大臣揮毫の書や創業当時の看板など貴重な資料が掲示されている。近くの船橋薬局と共に遺しておきたい歴史的遺物である



❷ 藩境の石
この石を境に幕末まで 230 年間両藩の対立が続く。文字は中江藤樹の書といわれるが、定かではない

2 月の歴史散歩は実施しません。

松前史談会(麻生) ☎ 090-4472-8136

community learning center 公民館 だより

【開館時間】 9 時～22 時 【休館日】 12 月 28 日～1 月 4 日
◆東公民館 神崎 210 ☎ 984-1159 FAX 984-1457
◆西公民館 北黒田 966-2 ☎ 984-5313 FAX 984-5313
◆北公民館 昌農内 456-1 ☎ 984-7529 FAX 984-9398

12 月 13 日、本年度もシニア大学の講座の一つとして、三公民館合同での完熟・一期座公演を開催しました。

演目は、「花のき村と盗人たち」と「ろくしゃく」。笑いあり、人とのつながりを再認識できる感動ありの公演に、会場の誰もが夢中になっていました。

参加者からは、「毎年の楽しみ。また来年もよろしくね」「今年も面白かったよ、ありがとう」という声がたくさん。

シニア大学では、これからも地域の皆さんが楽しく元気に活動できる講座に挑戦していきます。



⑤劇団員による迫力のある演技
⑥最後は、劇団員の皆さんに温かい拍手を送る

Let's Enjoy Books

ふるさと ライブラリー

◆開館時間 9 時 30 分～19 時
◆問い合わせ ☎ 985-4140
FAX 985-1386
<https://www.i-masaki.jp/library/>
◆2 月の休館 29 日⑥

おはなし会
17 日 ⑤
11 時～

文化センター
2 階ふるさと学習室

◆新着本 紹介

毎週新しい本を入荷し、随時、新着本コーナーに展示しています。貸し出し状況、予約状況はお問い合わせください。

▶きこえる
道尾秀介・著
講談社



物語×音声の新しい読書体験。作中に登場する QR コードを読み取って音声を再生すると真相が明らかになる「体験型ミステリ」。ゾクッと音からなるほどと思う音まで、聞くと印象がガラリと変わる新体験

▶墓じまいラブソディ
垣谷美雨・著
朝日新聞出版



「絶対夫と同じ墓に入りたくない！」四十九日の法要を目前に、突然明らかになった姑の遺言。誰もが直面しうる墓問題をユーモラスなタッチで描いた 1 冊。明日はわが身の墓騒動小説

▶いちばんの願い
トーン・テレヘン・著
新潮社



世界中で愛されている「どうぶつの物語」シリーズ最新作。太陽のように輝きたいホタルや、二度とケーキを食べたくないクマなど、動物それぞれに奇妙で切実な願いがあり、その奇妙さが私たちの心を映し出す



▶生活はクラシック音楽でできている
渋谷ゆう子・著
笠間書院

炊飯器やお風呂の音楽、映画やアニメの挿入曲など、実はさまざまな形で毎日耳にしているクラシック音楽を紹介。クラシック音楽に触れたい人、音楽の知識を身に付けたい人におすすめ



▶大人もときめく国語教科書の名作ガイド
山本茂喜・著
東洋館出版社

あの頃は嫌々読んでいた教科書も、大人になってから読むとまた違った一面が見えるもの。もう一度教科書を読み直したくなること不可避な、あの頃に戻れるブックガイド



▶まちかどガードパイプ図鑑
岡元大・著
創元社

車道と歩道の境目など、人と車の接触を防いだり、進行方向を誤った車を正しい方向に戻してくれたりするパイプ製の柵。人知れず道路の隅で個性を放つおもしろガードパイプがあなたの町にも